

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	嘔吐物凝固剤
供給者の会社名称	株式会社MonotaRO
住所	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当部門	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡電話番号	所在地と同じ
推奨用途	嘔吐物の凝固処理剤
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質 専門家等の判断を仰ぐこと。
整理番号	M250815

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2A 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(腎臓 免疫系)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分 類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H319 強い眼刺激 H341 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 発がんのおそれ H372 長年にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害 H373 長年にわたる、又は反復ばく露による腎臓、免疫系 の障害のおそれ H402 水生生物に有害
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 (P202) 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しない こと。(P260) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) 取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 (P270) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 (P280)

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
吸水ポリマー	約20.0%	不明	不明	不明	9003-04-7
天然濾過鉱石 -結晶質シリカ4～8%を含む	約30.0%	不明	不明	不明	ゼオライト 12173-98-7
					ゼオライト 1318-02-1
					石英(結晶質シリカ) 14808-60-7
EPA登録殺菌剤 #6836-266 -ジアルキルジメチルアンモニウム クロライド(C8～C10) -アルキルジメチルベンジル アンモニウムクロライド(C12～C16)	約0.02%	不明	不明	不明	68424-95-3
					68424-85-1
pH調整剤	約50.0%	不明	(1)-122	不明	471-34-1
その他、水	残り	不明	不明	不明	不明

4. 応急措置

吸入した場合

直ちにうがいをする。
空気の新鮮な場所に移すこと。
症状が続く場合は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに石鹸と多量の水で洗い流すこと。
汚染された衣服、靴等を速やかに脱がせる。
症状が続く場合は医師に連絡すること。

眼に入った場合

数分間目を付けて洗浄する。
コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗浄すること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合	水で口の中をよく洗浄する。 無理に吐かせてはならない。 症状が続く場合は医師に連絡すること。	
応急処置をする者の保護	個人用保護具を着用すること。	
5. 火災時の措置		
消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、水噴霧、二酸化炭素、乾燥砂	
使ってはならない消火剤	棒状注水(本品があふれ出し、環境汚染を引き起こすおそれ)。	
特有の危険有害性	火災によって有害なガスやヒュームを発生する恐れがある。	
特有の消火方法	消火作業は風上から行い、消火する人は場合によっては呼吸保護具を着用する。 火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。	
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。	
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	屋内で作業する場合は十分な換気をする。 作業時は保護具を着用する。 漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の出入りを禁止する。 風下の人を避難させる。	
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。	
回収、中和	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。	
封じ込め及び浄化方法と機材	ウエス、ちりとり、スコップ等で回収する。	
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。	
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	作業時は保護具を着用する。 粉じん、ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。 使用後は容器を密閉する。
	局所排気・全体換気	必要に応じて局所排気、全体換気を行う。

保管	安全取扱注意事項	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 人体への接触、吸入又は飲み込まない。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後は手をよく洗うこと。 汚染された衣服は、多量の水ですすぎ洗いする。
	接触回避	直射日光、高温体、湿気
	技術的対策	保管場所は製品が汚染されないように清潔にする。 保管場所は採光と換気装置を設置する。
	混触危険物質	酸性物質、還元剤、酸化剤
	保管条件	容器は直射日光や湿気、強熱を避けて常温で保管する。 容器を密閉して冷暗所に保管する。 一定の場所を定めて、施錠して保管する。 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
	容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレン等

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
吸水ポリマー	未設定	未設定	未設定
天然濾過鉱石 -結晶質シリカ10～20% を含む	未設定	【粉塵許容濃度】(吸入性 結晶質シリカ)0.03mg/m3	設定あり
EPA登録殺菌剤 #6836-266	未設定	未設定	未設定
	未設定	未設定	未設定
pH調整剤	未設定	未設定	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
吸水ポリマー	未設定	未設定
天然濾過鉱石 -結晶質シリカ10～20% を含む	未設定	未設定

EPA登録殺菌剤 #6836-266	未設定	未設定
	未設定	未設定
pH調整剤	未設定	未設定

許容濃度 (ACGIH) 参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策
屋内作業場で使用する場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
取扱場所の近くに安全シャワーや洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具	呼吸器用保護具口	防塵マスク
	手の保護具	不浸透性保護手袋
	眼の保護具	側板付き保護眼鏡、化学用安全眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	長袖作業着、保護長靴

衛生対策
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護具は定期的に点検すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	粉末
色	白～茶色
臭い	なし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界	データなし
／可燃限界	
	上限
引火点	データなし
自然発火点	引火せず
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	なし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	水: 接触するとゲルを形成する。
	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。

化学的安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。

危険有害反応可能性

通常取り扱いではなし。

避けるべき条件

直射日光、高温体、湿気

混触危険物質

酸性物質、還元剤、酸化剤

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

経口

急性毒性推定値が6116.8651685mg/kgのため区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

経皮

急性毒性推定値が2495.8946695mg/kgのため区分5とした。

JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

吸入

(気体)

GHS定義による気体ではない。

(蒸気)

データ不足のため分類できない。

(粉じん・ミスト)

急性毒性推定値が29.754mg/lのため区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

眼に対する重篤な損傷性／
眼刺激性

眼区分2の成分合計が11%のため、区分2Aとした。

呼吸器感作性

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖細胞変異原性

区分2の成分が8%のため、区分2とした。

発がん性

区分1Aの成分が8%のため、区分1Aとした。

生殖毒性

(生殖毒性)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

(生殖毒性・授乳影響)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1(呼吸器)の成分が8%のため、区分2(呼吸器)とした。

区分1(腎臓)の成分が8%のため、区分2(腎臓)とした。

区分1(免疫系)の成分が8%のため、区分2(免疫系)とした。

区分1(呼吸器)の成分が20%のため、区分1(呼吸器)とした。

区分1(呼吸器)の成分が11%のため、区分1(呼吸器)とした。

誤えん有害性

動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が200%のため、区分3とした。

水生環境有害性 長期(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が20%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、
もしくは地方公共団体がその処理を

行っている場合にはそこに委託して処理する。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

汚染容器及び包装

使用済みの容器は、他の物質を混入させたり、他の用途に使用しない。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分

を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

國際規制

国連番号

該当なし

輸送名

容器等級

特別の安全対策

各種法令に従い輸送すること。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの

防止を確実に行うこと。

重いものを積み重ねないこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)

ゼオライト

結晶質シリカ

	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
	ゼオライト(安衛則別表第2の番号:1137)(10%-20%)
	結晶質シリカ(安衛則別表第2の番号:578)(1%-10%)
	がん原性物質(安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号)
労働安全衛生法(令和8年施行分)	結晶質シリカ 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)
	ゼオライト 結晶質シリカ 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
	ゼオライト(安衛則別表第2の番号:1137)(10%-20%)
	結晶質シリカ(安衛則別表第2の番号:578)(1%-10%)
労働安全衛生法(令和9年施行分)	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)
	アクリル酸重合物及びそのナトリウム塩 ゼオライト 結晶質シリカ 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
	アクリル酸重合物及びそのナトリウム塩(安衛則別表第2の番号:11の2)(10%-20%) ゼオライト(安衛則別表第2の番号:1137)(10%-20%)
	結晶質シリカ(安衛則別表第2の番号:578)(1%-10%)
毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 化審法 消防法 海洋汚染防止法	がん原性物質(安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号) 結晶質シリカ 非該当 非該当
外国為替及び外国貿易法	優先評価化学物質(法第2条第5項) 非危険物 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1) 輸出貿易管理令別表第1の7項 輸出貿易管理令別表第1の16の項 有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
水道法	
じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
16. その他の情報 参考文献	製造元メーカー提供資料

NITE GHS分類結果一覧

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス

化学品ドキュメント管理プラットフォーム(CDPF) SDS作成システム「ChemValue.AUTHOR」により作成

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。あくまでも参考情報として提供するものであります。

また、注意事項は通常の実施を前提としたもので、特殊な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。この情報は、新しい情報を入手した場合、予告なしに改訂されることがあります。